

<イベントについて>

- *講堂で行うイベントは、基本的に定員200名(先着順)です。
- ***要申込**の表記がないイベントは申込不要です。
- ***有料**(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
- ***要申込**のイベントは、原則として開催日一ヶ月前の開催日(休館の場合は翌開催日)9:30より電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。
- *「みんな」は、博物館の活動を応援して下さる皆さんと一緒に、協力してつくりあげる「みんなでつくるイベント」を指します。

企画展「縄文DX—会津・法正尻遺跡と交流の千年紀—」関連イベント

- 講演会「土器に宿る—縄文中期・ふくしまの人体文」**
7/13(土)13:30~15:00 講堂 高橋満(当館学芸員)
※土器×土偶=? ハイブリッドな関係を考える
- 講演会「ヒスイの道を探る」**
8/3(土)13:30~15:00 講堂 栗島義明さん(明治大学非常勤講師)
※縄文人を魅了した緑色の石を追いかけろ!
- 展示解説会「縄文土器」をよみかかせ**
有料 企画展観覧料または年間パスポート
8/10(土)・8/21(水)・8/31(土)13:30~14:30 企画展示室 高橋満(当館学芸員)

企画展「ふくしまの酒造り—酒を醸し和を醸す—」関連イベント

- 講演会「酒の日本文化」**
9/28(土)13:30~15:00 講堂 神崎宣武さん(民俗学者)
※宮本常一に師事した第一人者が語る、酒と日本文化の切っても切れない関係。
- 展示解説会** 有料 企画展観覧料または年間パスポート
9/21(土)・9/23(月・祝)・いずれも11:00~12:00・13:30~14:30
企画展示室 大里正樹(当館学芸員)

キッズ・ファミリー向けイベント

- 博物館でもよみかかせ**
7/13(土)・8/10(土)・9/14(土)10:30~11:30 なんだべや
※エプロンシアター、紙芝居、ペープサート、いろいろな「おはなし」が博物館のモノや人と出会います!
「わくわく」「どきどき」「にこにこ」「ほかほか」な時間をお楽しみください。
- こどもミニミニはくぶつかん**
8/10(土)・8/11(日・祝)10:30~15:30 なんだべや
※子どものための小さな博物館を開催! 工作や読み聞かせなど博物館に親しめるメニューを用意してお待ちしています! 会津大学短期大学の学生さんも遊んでくれるよ(8/10)。
- 会津短大生とあそぼう**
9/22(日)10:00~12:00 なんだべや
会津大学短期大学部幼児教育・福祉学科あそびサークルの皆さん
※短大のお兄さん、お姉さんが遊んでくれるよ。絵本もたくさんあるよ! 遊びに来てね。

見たい!知りたいたい!楽しみたい! 多彩なイベント

- 考古学講座** 縄文土器をつくらう **要申込** 定員20名 **有料** 450円(材料費・保険料)
7/27(土)・28(日)10:00~15:00 実習室 高橋満・五十嵐岳樹(当館学芸員)
申込は両日および10/6の「縄文土器の野焼き」に参加可能な方に限ります。
※あなたの縄文DXは? 企画展の逸品に挑戦する? しない?
- 美術講座** 「会津の個性豊かなほとけたち」
7/20(土)13:30~15:00 講堂 塚本麻衣子(当館学芸員)
※会津には個性的なほとけさまがいっぱい! その幅広さ、奥深さをご紹介します
- 美術講座** 美術放談3「おしゃれ心あれこれ」
8/24(土)13:30~15:00 講堂 小林めぐみ、塚本麻衣子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)
※おしゃれ心の表れ方も時代や職業などによって様々です。今見ても新鮮な感性、繊細な技術、そして美しく装うことへの憧れ。おしゃれ心という視点で美術史を見てみます。
- 災害分野講座** 楽しいそなえ
9/1(日)10:00~11:00 なんだべや 筑波匡介・鈴木幹生(当館学芸員)
※いざという時のそなえを、楽しみながら考えてみましょう。
- 災害分野講座** 楽しいそなえ~マイ避難シートをつくらう~
9/1(日)13:30~14:30 エントランス 福島県危機管理課
※いつ避難するの? 考えてみよう。
- 自然史講座** 恐竜を発掘するには
9/14(土)13:30~14:30 講堂 吉田純輝(当館学芸員)
※実際に恐竜を発掘するところを見てみよう!
- 特別講座** 詩人のいる博物館「詩作ワークショップ 夏、山によせて」 **要申込** 定員15名
8/11(日・祝)10:30~15:00 実習室 和合亮一さん(俳人)ほか
※磐梯山をテーマに、詩を作るワークショップを開催! 和合さんと一緒に詩を作ります。
(今年度の特別講座は、8/11のワークショップのみの開催です。
和合さんとゲストによる対談形式の講座は予定しておりません。ご了承ください)
- みんな** 会津磐梯山・市民盆踊り
8/15(木)19:00~20:30 前庭 会津磐梯山盆踊り保存会のみなさん
※会津で踊りつづけてきた会津磐梯山盆踊り。お盆の供養の気持ちを込めて参加してみませんか?
- 共催事業** 矢じりをつくらう! **要申込** 定員 9組
8/17(土)13:30~14:30 実習室 博物館友の会化石鉱物探検隊のみなさん
用意:帽子・エプロン・マスクをご持参ください。
※ピカピカしてカッコいい!
- 共催事業** 徳一菩薩に学ぶ会講演会
8/25(日)13:30~15:30 講堂 師 茂樹さん(花園大学教授)
※仏都會津の礎を築いた高僧・徳一についてご講演いただきます。
- 共催事業** 博物館友の会講演会「天文学から見た考古学」
9/8(日)13:30~15:00 講堂 渡部潤一さん(国立天文台 上席教授・国際天文学連合副会長)
※いにしえの人は星空をながめ、何を見出したのでしょうか。お楽しみに!

福島県立博物館
Fukushima Museum
開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL 0242-28-6000 FAX 0242-28-5986
〒965-0807 会津若松市城東町1-25
HP <https://general-museum.fcs.ed.jp> E-mail general-museum@fcs.ed.jp

【三の丸からプロジェクト】

【三の丸からプロジェクト体験型プログラム提供事業】

武士が愛したかそけき音色・七絃琴に触れる
7/7(日)・8/25(日)・9/8(日)いずれも10:30~12:00・13:30~15:00 なんだべや
飛田立史さん(琴士)
※江戸時代、会津藩士も弾いていた「七絃琴」の音色を楽しみませんか? ご自由にお立ち寄りください。

見て触れて、能を体験してみよう **要申込** 定員15名
7/14(日)13:30~15:30 なんだべや 会津能楽会のみなさん
※博物館が立地する三の丸と関わりの深い能楽。謡や仕舞の体験、楽器や衣装に触れる体験を通して武家文化にふれてみましょう。

刀剣取り扱い講座 **要申込** 各回定員6名
8/18(日)①10:00~12:00、②13:30~15:30 なんだべや
藤安将平さん(将平殿刀場 刀匠)
※敬度(けいけん)な気持ちを含め刀剣の正しい取り扱いについて教えていただきます。

【7~9月のポイント展】

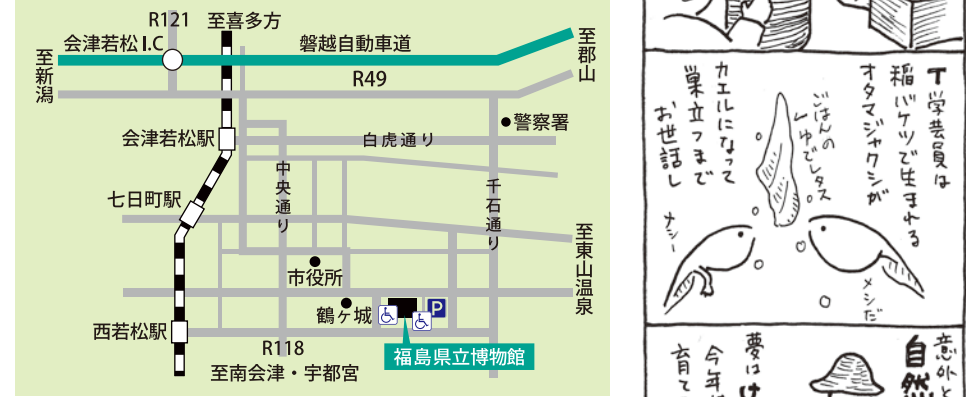
*ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。

- 触って観よう—障がい者をめぐるあそび・まなび— 7/17~9/1
※まずはさわってみて!!
- 恐竜を発掘するには 7/20~10/23
※どんな道具があれば恐竜を掘り出せるだろう?
- みんなの震災遺産 8/10~9/8
※災害に対するそなえの大切さについて考えるきっかけにどうぞ!
- 友の会化石鉱物探検隊ミニ成果展 9/14~11/24
※きれいな石がいっぱい!

観覧料

【常設展総合展示室の閉室について】
常設展総合展示室(旧石器時代から現代までの福島県の歴史をご紹介する通史展示室)は、設備の一部不具合により観覧を中止しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど宜しくお願いいたします。
なお、総合展示室の観覧中止期間にご購入いただいたチケットの半券は、再開室後に再度ご利用いただけます。再開室は確定次第当館のホームページ等でお知らせいたします。

- 常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円) 県民の日8/21・敬老の日9/16は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
- 夏の企画展 「企画展「縄文DX—会津・法正尻遺跡と交流の千年紀—」秋の企画展「ふくしまの酒造り—酒を醸し和を醸す—」 夏・秋とも一般・大学生1,000円(800円)、()内は20名以上の団体料金。
*高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。
- 年間パスポート 2,000円 購入日から1年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。
- 施設共通券(当館常設展・鶴ヶ城・茶室隣間) 一般・大学生630円



- JR会津若松駅から約3km
- ・タクシーで約10分
- ・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分 (鶴ヶ城三の丸下車すぐ)
- ・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分 (鶴ヶ城三の丸下車すぐ)

- 車椅子利用者用駐車場**
- ・博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
- ・一般駐車場内博物館入り口側:3台
- ※ご不明な点はお問い合わせください。



縄文土器 深鉢(国重文)
縄文時代中期前期 福島県教育委員会所蔵

縄文土器 深鉢(国重文)
縄文時代中期前期 福島県教育委員会所蔵

Curator diary

がくげいん日記

あまのこがくげいん日記
あまのこがくげいん日記
あまのこがくげいん日記

あまのこがくげいん日記
あまのこがくげいん日記
あまのこがくげいん日記

あまのこがくげいん日記
あまのこがくげいん日記
あまのこがくげいん日記

夏の企画展

縄文DX 一会津・法正尻遺跡と交流の千年紀

会期: 7月6日(土)~9月1日(日)
展示場所: 企画展示室
観覧料: 一般・大学生 1,000円(20名様以上の団体800円)、
高校生以下無料 *企画展料金で常設展もご覧いただけます。
年間パスポート 2,000円
 (購入日より1年間、当館主催の企画展・常設展を何回でもご覧いただけます)



神像筒形土器(国重文)
 長野県藤内遺跡
 富士見町戸尻考古館所蔵
 画像提供(撮影 田枝幹宏)



国宝「土偶」縄文のピナス
 長野県棚畑遺跡 茅野市所蔵 写真提供: 茅野市尖石縄文考古館
 ※展示期間7月6日~7月18日、以降はレプリカの展示



樽形深鉢(国重文)
 法正尻遺跡
 福島県教育委員会所蔵



火焔型土器
 新潟県吉野屋遺跡
 三条市所蔵・写真提供



ヒスイ製大珠(国重文)
 法正尻遺跡
 福島県教育委員会所蔵

●この企画展はどのように考えたのでしょうか
 法正尻遺跡(磐梯町・猪苗代町)は福島県を代表する縄文時代中期の大規模なムラの跡です。今年の7月で出土品が国の重要文化財に指定されて15年となることから、これを記念し、ふるさと会津での里帰り展覧会を企画しました。県博でもこれまでに何度か展示紹介している遺跡ですが、まとまった数で公開するのは今回が初めてになります。

●「縄文DX」という展覧会名は独特です。どんな意味があるのですか?
 DXには、縄文時代中期の大型でダイナミックな構図や立体的なデザインを駆使した土器を形容する「デラックス」の意味を込めています。

また、Dは東北地方南部に広がる大木式土器のイニシャルを表しています。福島県の場合は関東や北陸地方など隣接地域の土器のかかわりで独自に変化した土器がみられます。この現象は、今風に土器トランスフォーメーションとすると「DX」になります。Xは掛け算の「×」、何かを掛け(合わせ)た、の意もあります。

●展示のみどころを教えてください
 火焔型土器で有名な新潟県の馬高式土器、関東や中部地方の阿玉台式土器・勝坂式土器など他地域からもたらされた、または他地域にルーツのある土器が共存するのが福島県の特徴です。どの地域の遺跡なのかと思うほどに交流が盛んだったことを示すデコデコな見栄えの縄文土器たちが立ち並ぶ姿は圧倒されますよ。

●特におすすめの資料はありますか?
 話題になった柳津町の土偶を掛け合わせたようなハイブリッドな土器(=D×DG)はとてもしア(DoGu)です。土偶の表情は何か言いたげで何とも言えない雰囲気を出しています。そして、これらの造形の頂点に立つ「神像筒形土器」が長野県から会津に降臨! その神々しさや存在感は一見の価値あります。また福島県や東北地方初公開の土器や土偶も15周年のお祝いに駆けつけてくれます。「ピナス」や「女神」で知られる教科書でもおなじみの縄文スターズの姿を間近で感じてみてください。

●展示の裏話があったら教えてください
 法正尻遺跡出土品と向き合うのはかなりしんどいです。とてもカッコイイ土器なんですけど、土器が大きくて厚いのでとにかく重いですね。まほろん(県文化財センター白河館)さんに協力いただいて全ての土器を見せていただきましたが、2人で5日かかりました。腰が痛くなりました。



土偶装飾付土器
 柳津町池ノ尻遺跡
 柳津町教育委員会所蔵



人形文様付有孔筒形土器(国重文)
 山梨県駒形町屋敷遺跡
 南アルプス市教育委員会所蔵・写真提供



国宝「土偶」縄文の女神
 舟形町西ノ前遺跡
 山形県立博物館所蔵・写真提供
 ※展示期間8月20日~9月1日、
 8月18日まではレプリカの展示

ポイント展+
 収蔵品を中心に、資料を1点から紹介する小規模展示が当館のポイント展です。小規模だからと侮ることなかれ! 隠れた逸品や学芸員の研究の最先端がみられる(かもしれない)展示です。そんなポイント展を深掘りする「ポイント展+」。
 今回ご紹介するのは…
「触って観ようー障がい者をめぐるあそび・まなび」
 学芸員の **西尾祥子さん(民俗)**に 会期: 7月17日(水)~9月1日(日)
 展示場所: エントランスホール 観覧料: 無料
 聞きました!

●博物館の展示としては珍しいテーマに思えます
 ここ数年、博物館を誰にでも楽しんでもらえるような場所にするための取組の一つとして、視覚や聴覚に障がいがある方や団体の方と一緒に観覧する機会がありました。そんな中で、視覚に障がいをお持ちの方から自分たちが長年使ってきた将棋盤と駒などを寄贈いただきました。現在でこそ「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」などの言葉は日常的になりましたが、それらの資料からは、そんな言葉さえもなかった時代も「学びたい」「遊びたい」という気持ちは、みな同じ! と、気づく機会にもなりました。それをきっかけに、昔の、今の、視覚に障がいのある方の道具がどんなものか? という疑問がわき、このポイント展を企画しました。

●どういった資料が展示されるのでしょうか
 福島県立視覚支援学校、福島県点字図書館のご協力により、実際に使用している(使用していた)教材や遊びの道具をお借りしてきます。一般に市販されているものとどんな違いがあるのかを、実際に触って、手にとって観ていただきたいです。

●展示にあたってのこだわりポイントはありますか?
 全てではありませんが、キャプションにも点字表記を加えてみようと考えています。福島県点字図書館の皆さんや福島県立視覚支援学校の先生方も点訳を申し出てくださったんです。点字を知ってもらう機会にしたいと考えています。

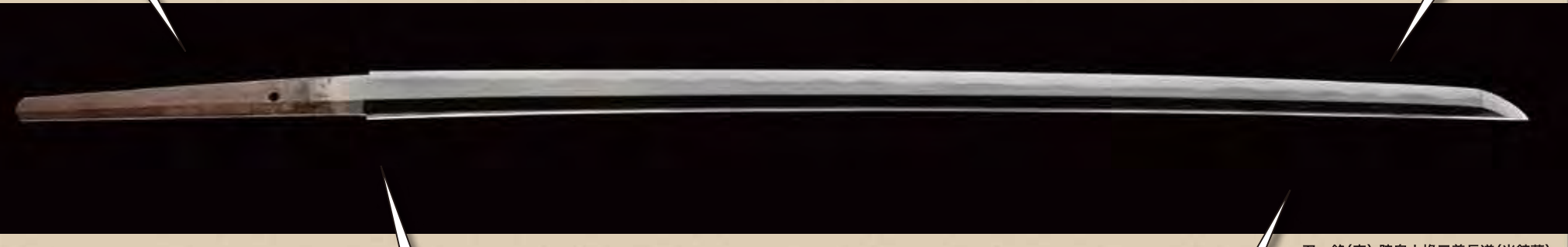
視覚障害者将棋
 将棋盤と駒(当館蔵)

テーマ展 **美しき刃たち** 会期: 7月27日(土)~9月23日(月・祝)
 展示場所: 常設展分野別展示室 歴史・美術
 観覧料: 常設展料金(一般・大学生280円)でご覧いただけます。高校生以下無料。

学芸員の **小林めぐみさん(美術)**、**渡邊歩さん(歴史)**に聞きました。
 鶴ヶ城の若松城天守閣郷土博物館では、収蔵品展「刀・刀装具」(~9/9)を開催中! あわせてご覧ください。

●ここ数年、刀剣の展示は定期的に行われていますね
 2018年夏に開催した企画展「美しき刃たち」は、刀剣への関心の高さ、展示のご希望を強く感じる機会となりました。引き続きみなさまに刀剣をご覧いただくべく、2019年度から毎年、企画展のタイトルを受け継いだテーマ展として開催しています。

●今回は刀以外にもおもしろい資料があると聞きましたか?
 刀剣とあわせて、江戸時代に刀匠たちの腕前がどのようにみられていたのかを伝える全国の刀匠の番付表「刀剣師番付」(当館蔵)と会津の様々な商工の優れた家をランキングで紹介する「若松緑高名五幅対」(当館蔵)。お気に入りの刀匠を探してみるのも一興です。



刀 銘(表) 陸奥大掾三善長道(当館蔵)

●展示のキーワードを挙げるとしたら?
 「三善長道と古川兼定」
 会津の刀匠を語るうえで外すことのできない名匠の名前です。ともに江戸時代を通じて何代にも渡って名前が受け継がれ、優れた刀を残しました。それ以外にも、たくさんの刀匠を輩出した会津ならではの見どころとして道辰、元興といった刀匠の作もご覧いただけます。初出品の刀剣、5振も展示予定です。

●刀剣の展示は難しいと聞きますか?
 刀剣の見どころとなる刃紋や地鉄はライティングによって見え方が変わります。よりよくご覧いただけるようにライティングには特に気を配っています。

キッズなじよな 大盛況!

「こどもミニミニはくぶつかん」
 「こどもミニミニはくぶつかん」は、博物館や会津のものづくりに興味をもっていただきたいという思いが詰まった企画です。5月3日(金)~5日(日)に実施した「こどもミニミニはくぶつかん」では、会津大学短期大学部の学生さん、会津民話会の皆さん、会津農林事務所森林林業部林業課の皆さんにもご協力いただき、様々な体験を楽しんでいただきました!



次回は8月10日(土)・11日(日) 10:30~15:30